

【2回戦・大津―八学野西】後半、八学野西は木村隆太(中央)がコーナーキックに頭で合わせ、チーム唯一のシュートを放つ。福島県楢葉町Jヴィレッジ



初出場野西 全国の壁痛感 選手権での再挑戦誓う

サッカー男子で初出場した八学野西は初戦の2回戦で、大津(熊本)に0-1で完敗。前半に消極的なプレーが目立ち、巻き返しを図るも及ばなかった。MF阿部亮太は「自分たちはまだまだ県レベル。いろんなことを思い知らされた」と実力の差を痛感した。

相手はプレミアリーグウエストに所属し、昨年には東西王者によるファイナルを初制覇。八学野西は序盤からプレスを試みるも、寄せてはかわされ、密集陣形をつくれはサイドチェンジされ、ボールの奪いどころを見つけれなかった。

「自分たちの最終ラインの前に立った(相手の)5人それぞれに裏を狙われたり、下がってボールを受けようとした。技術もサッカーIQも初めて戦うレベルだった」と阿部。前半だけで、コーナーキックから2点、左サイドを突破されて1点を失った。

力量の差以上に「受け身になってしまった」(阿部)。「応援に来てくれる人たちの気持ちを背負ってプレーしろ」。ハーフタイムに、三上晃監督が活を入れ、5バックに変更。守備時に半歩前へ踏み込むようになって次第に押し返し、阿部のコーナーキックから木村隆太のヘディングで相手ゴールを脅かす場面もつづいた。

結果を覆すことはできなかったが「この試合は成長の一番の糧になる」と三上監督。前半終了後に退いたFWの藤田律主将は「このままでは終われない」と全国高校選手権での再挑戦を誓った。

(桑田友人)

焦点

力量の差以上に「受け身になってしまった」(阿部)。「応援に来てくれる人たちの気持ちを背負ってプレーしろ」。

ハーフタイムに、三上晃監督が活を入れ、5バックに変更。

守備時に半歩前へ踏み込むようになって次第に押し返し、阿部のコーナーキックから木村隆太のヘディングで相手ゴールを脅かす場面もつづいた。

結果を覆すことはできなかったが「この試合は成長の一番の糧になる」と三上監督。

前半終了後に退いたFWの藤田律主将は「このままでは終われない」と全国高校選手権での再挑戦を誓った。

(桑田友人)



全国高校総体(インターハイ)「開け未来の扉 中国総体2025」は

27日、広島など5県で6競技が行われた。レスリング男子団体は工大一が3回戦を突破し、準々決勝に駒を進めた。福島県で行われているサッカー男子は、2回戦で初戦を迎えた八学野西が大津(熊本)に0-1で破れた。

陸上は女子8000mの上やレスリングなど4競技が行われた。藤本望月(弘前実)が決勝に進出。女子円盤投げの前山聖奈(新郷中一弘前実)は予選A組23位だった。バスケットボールは男子の八学光星、女子の柴田がいずれも1回戦敗退となった。

28日は広島県などで陸上やレスリングなど4競技が行われる。記録は3位までと青森、岩手県北関係分

サッカー

▽福島県Jヴィレッジほか

▽男子2回戦

大津 3(3-0-0) 八学野西

(熊本) 3(0-0-0) 野辺地西

▽得点者【大津】松野 村上 廣山

野西

男子サッカー

初戦敗退

レスリング男子 工大一8強入り

冬のリベンジ果たせず

光星男子1回戦敗退

バスケットボール

（ジップアリーナ岡山ほか）

▽男子1回戦

北陸学院 79
（石川） 142 42 41 7
22 7 15 14
58
光星 八戸学院

▽女子1回戦

八雲学園 101
（東京） 23 29 24 25
13 25 23 20
81
園大柴田学

○…バスケットボール男子の八学光星は、冬の全国高校選手権で敗れた北陸学院（石川）にリベンジを果たせず、1回戦

で姿を消した。目標の8強入りも逃し、ゲームキヤプテンの角谷光煌斗は「勝たせることができず、チームメイトに申し訳ない」と悔しがった。

第1クォーター（Q）には、10-11から江頭昊希が決めて一時逆転したが、第3Qは相手が外角の守りを強化し、3点シュートをことごとく封じられた。リバウンドへの対応も後手に回り、7得

点と攻めあぐねた。

ゾーンディフェンスで内側を固めるも「ローテーションがうまくいかず」（角谷）、次々とゴール下に入られて失点。第4Qには角谷のフリースローなどで22点を挙げるも差は縮まなかった。

12月の次回ウィンターカップを見据え、角谷は「3点シュートの精度などはまだまだ改善が必要。日本一に向けて1勝1勝を挙げられるよう、練習から立て直していきたい」と決意を示した。



【バスケットボール男子1回戦・北陸学院―八学光星】第3クォーター、ドライブで攻める八学光星の角谷光煌斗（ジップアリーナ岡山）